

SEIWA®

D599

取扱説明書

オートワイヤレスQiスマホホルダー 吸盤

この度は弊社製品をお買い求めいただきましてありがとうございます。
ご使用前に本書(取扱説明書)をよく読み、製品を安全にお使いください。

※この取扱説明書については、予告なしに変更することがあります。
※製品改良のため、予告なく外觀または仕様の一部を変更することがあります。

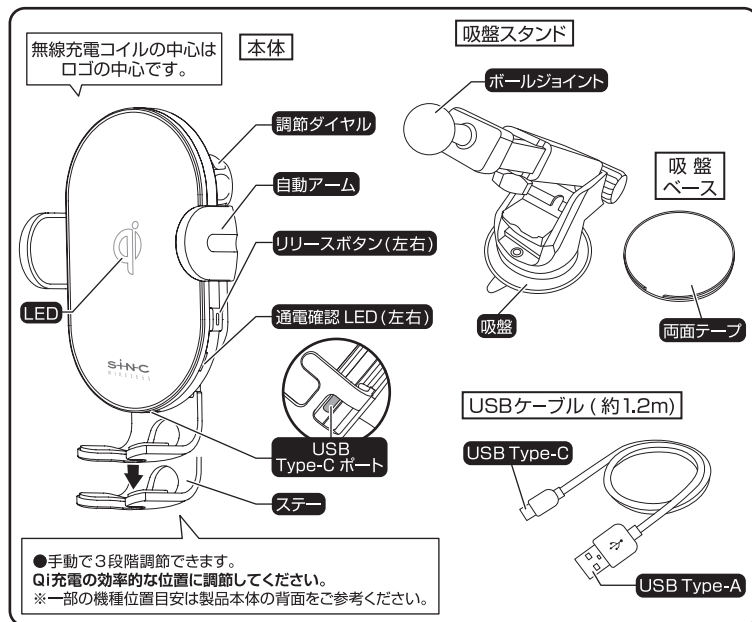
はじめに

*** 安全にご使用いただくために

- 本製品をご使用いただく際は、走行前に予め本体がしっかりとお車に取り付けていられるかをご確認の上、お使い願います。
- 以下の警告・注意をお読みの上、正しくご使用ください。警告・注意に従わない場合など、誤ったご使用をされた際の事故、故障、破損などにつきましては、接続する充電機器も含めて当社では一切その責任、保証は負いかねます。

セット内容

本製品の構成と名称、部品のはたらき



1 安全上の注意

- 警告** この表示は、取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
 - 注意** この表示は、取扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。
- 右の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。
- 禁止 (してはいけないこと) を示します。
 - 強制指示 (必ず実行していただくこと) を示します。

- 警告**
 - 本製品の取り付けには十分注意してください。取り付け、ご使用が困難な時、または、運転操作、視界の妨げ、エアバッグ付近、エアバッグ作動の妨げになる場合は無理に取り付けたりしないでください。事故や故障、破損の原因になります。
- 禁止**
 - フロントガラスには取り付けしないでください。法令に違反します。
 - ガラス面の取り付けは、熱線やアンテナ線にかからないようしてください。携帯電話及び、本製品の破損や脱落の原因となります。
 - USBケーブルのプラグ部をアクセサリソケットの中に入れてください。感電や発火のおそれがあります。
 - 火の中に投下したり、高温(70℃以上)の環境下に保管、放置しないでください。お車のダッシュボード上やグローブボックス内は直射日光の下では70℃以上の高温となりますので、ダッシュボード上及びグローブボックス内への保管等はやめてください。万が一高熱になった場合や発煙、ショートがあった場合には、ただちにご使用を中止してください。
 - 濡らさないでください。また、濡れた手でさわらないでください。本製品は非防水です。濡らしたり、雨、雪、霧などの状況下に屋外で使用しないでください。水などが内部に入ると、火災、発熱、感電、故障、けがなどの原因となります。
 - 釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、強いショックを与えないでください。破損、発火、発熱させる原因となります。
 - 分解、改造、後加工をしないでください。火災、感電、故障、けがなどの原因となります。これらが起因する携帯電話のトラブルに関して、当社は責任を負いかねます。また、コードを分解・切断しての直接配線などは絶対にやめてください。
 - 走行中の運転者による本体の操作は絶対にやめてください。運転者による携帯電話の操作は事故などの原因となります。また、本製品の操作、取扱いも運転操作の妨げになりますのでやめてください。接続操作などは、お車を安全な場所に駐車しておこなってください。
 - コードを傷つけたり、きつく結んだり、乱暴に扱わないでください。感電、発火、発熱、故障、断線、けがの原因となります。
 - ガラス面以外の取り付けは、付属の「吸盤ベース」を必ず使用してください。携帯電話及び、本製品の破損や脱落の原因となります。

- 注意**
 - ご使用前に、必ず携帯電話のメモリの控えを取ってください。本製品の使用による携帯電話内部及び接続されたメモリのデータ破損や消失に関する責任は負いかねます。
 - 極端な低温(-20℃以下)での保管、放置はやめてください。製品の故障や、性能を損ねるおそれがあります。
 - 本製品に物をかけたりしないでください。製品の故障や、性能を損ねるおそれがあります。
 - クリーニングするときに研磨剤入りの溶剤は使用しないでください。本製品に傷がつくおそれがあります。汚れた際は乾いた布で拭いてください。
 - 破損した時には、お車のヒューズボックスにあるすべてのヒューズに破損がないかを確認してください。車の機能(ヘッドライト、空冷ファンなど)に支障がないことを確認してください。
 - ホルダーの調節後はしっかりとダイヤルを締め付けてください。加減速時などに本製品が倒れたりして、携帯電話やお車の内装、本製品の破損の原因となります。
 - 本体のLED光源を直視しないでください。目の健康をそこねるおそれがあります。
 - エンジンをかけた状態で使用してください。車のバッテリー保護や本体ならびに接続機器内部の電子回路に影響を及ぼす可能性があるため、必ずエンジンをかけた状態で使用してください。
 - 悪路を走行する場合は携帯電話を置かないでください。携帯電話が落下するおそれがあります。

無線充電に関するご注意

- 環境温度や携帯電話の仕様により、満充電付近において充電完了前に充電が停止する場合があります。
- 充電完了前に充電が停止した場合は、充電をすぐに再開しない場合があります。
- 一定以上の温度になると、充電機能が停止したり、充電時間が長くなったりする場合がありますが、異常ではありません。温度が低下するまでお待ちください。
- 無線充電中は、携帯電話のバイブレーター機能をOFFにし、動かさないでください。携帯電話が振動により動き、充電完了できなかったり、落下したりするおそれがあります。
- 製品本体には付属のUSBケーブルのご使用を推奨致します。
- 充電する機器以外の無線充電機器と近接して30cm以内で近づけないでください。充電する機器を正しく検出できず、充電できない場合があります。
- テレビやラジオなどに雑音が入る場合は、テレビやラジオなどからなるべく離れた場所でご使用ください。また、ワンセグなどの受信状態が悪くなる場合があります。
- 無線充電時に携帯電話のアプリケーションなどが作動すると、充電完了しない場合があります。
- 無線充電中は携帯電話の電池が温くなる場合がありますが、異常ではありません。
- 充電完了後でも、長時間放置している場合は、電池残量が減少している場合があります。

本製品に関するお問い合わせは (トラブルシューティングで解決できないとき)

本製品に関するお問い合わせは…

☎ 0570 (039) 710

受付時間/AM10:00~PM5:30月曜日~金曜日(祝日休業)

〒273-0016 千葉県船橋市潮見町6-1

2 本製品取り付け・取り外し方法

● 開封と内容物の確認

■開封後、表面の「セット内容」を参考に内容物の確認をお願いします。

■ 取り付けに関するご注意

- 必ず車を安全な場所に停車してから、本製品の取り付けを行ってください。
- 吸盤は何度も取り付け・取り外しが可能ですが、「吸盤ベース」は貼り直しができません。
- 本製品「吸盤ベース」の取り付け面は、曲面でない直径約8cmの貼り付け面が必要です。
※吸盤ベースの貼り直しは、脱落の原因となりますので絶対におやめください。
- あらかじめ「吸盤ベース」取り付け場所の光沢材、汚れ、ゴミ等を中性洗剤等を用いてよく拭き取ってください。
- 10℃以下の低温時には十分な接着力が得られない場合がありますので、低温時を避けてお取り付けください。また、真夏の炎天下等取り付け場所が高温になっている場合も接着力が得られない場合があります。
- 運転操作の妨げやエアバッグ作動時に影響がないよう取り付けてください。本製品の取り付け、ご使用が困難な場合は無理に取り付けしないでください。

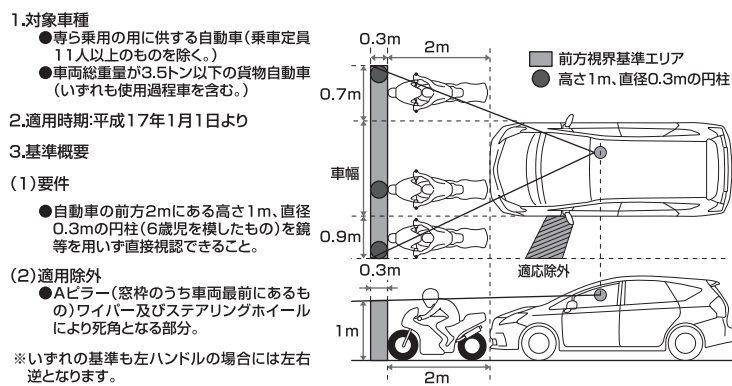
■ 取り付け位置について

下記及び本製品のパッケージ記載の取扱説明に従わない場合など、誤ったご使用での事故、故障、破損などにつきましては、当社では一切その責任を負いかねます。

国土交通省の定める「道路運送車両の保安基準」の改正(平成17年1月1日)に伴い、下記の範囲内の前方視界を確保することが義務付けられています。本製品(および携帯電話)を取り付ける際は、下図を参考に、運転者の前方視界を妨げないように取り付けてください。

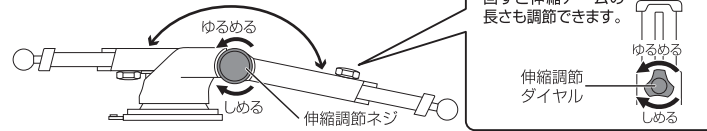
■ 前方視界基準(抜粋)

※2019年12月調べ



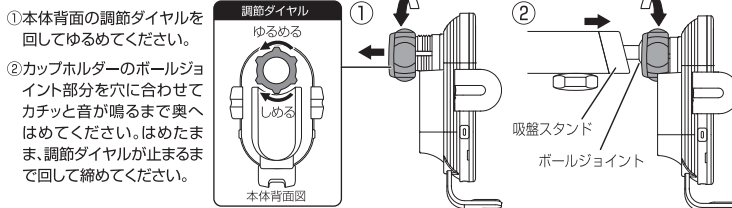
■ 伸縮アーム調節方法

伸縮調節ネジを回すと伸縮アームの角度を調節できます。



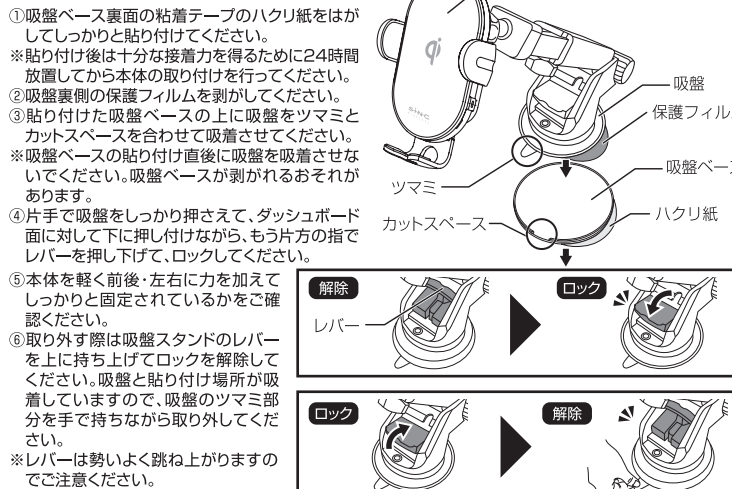
● 「本体」と「吸盤スタンド」の組み立て

■下図を参考に「ホルダー本体」と「吸盤スタンド」を組み立ててください。



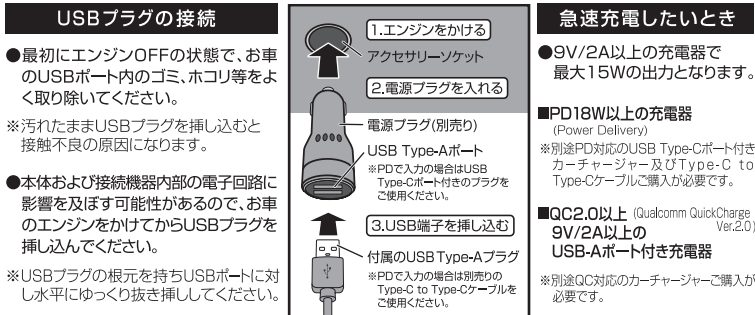
● 取り付け・取り外し方法

■吸盤を吸盤ベースに固定します。



3 ご使用方法

● ホルダー本体と付属のUSBケーブルを接続する

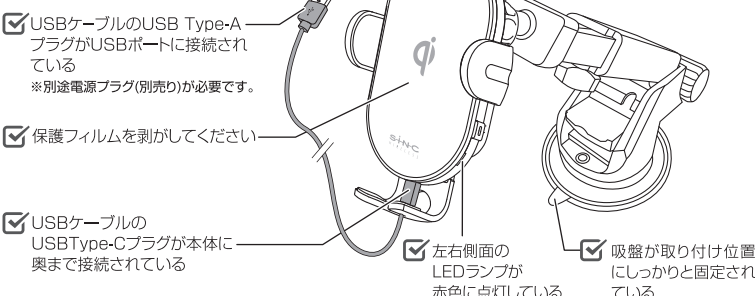


■ USB Type-Cプラグの接続

ホルダー本体のUSB Type-Cポートに、付属のケーブルのUSB Type-Cプラグを接続してください。
※プラグを接続すると左右のLEDランプが点滅します。

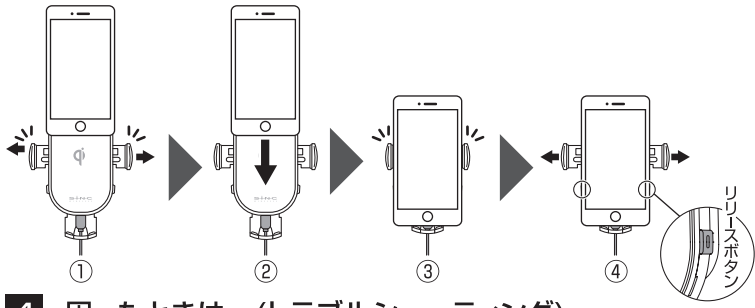


■ 取り付けイメージ



● 携帯電話の置き方・取り外し方

- ①通電後、左右のアームが自動で開きます。
- ②携帯電話を本体に載せます。
- ③コイルセンサーが反応して左右のアームが自動で閉じ、無線充電を開始します。
- ④携帯電話を取り外す際は、両サイドにあるリリースボタンのどちらかを指で押すとアームが開きます。もう一度押すとアームが閉じます。
※エンジンを切ってから約30分以内は、内蔵電源によってアームが1回開閉できます。



4 困ったときは…(トラブルシューティング)

●故障かな?と思ったときは、お問い合わせいただく前に、本取扱説明書をもう一度お読みになり、操作に誤りがないかお確かめください。また、次の項目をご確認ください。

症状や疑問点	確認していただくこと
本体LEDランプが赤色に点灯しない	USB Type-AプラグやUSB Type-Cプラグがしっかりと接続されているか確認してください。 アクセサリソケットや各接続ポートに電気が来ているか確認してください。
携帯電話を載せてもアームが動かない	ケーブルが破損していないか、通電しているか確認してください。 ケーブルの挿し込みが緩くないか確認してください。 携帯電話の取り付け位置がずれていないか確認してください。 ご使用した環境の温度が高すぎる、または低すぎるか確認してください。 リリースボタンをタッチしてアームが開いているか確認してください。
リリースボタンを指で押してもアームが開かない	通電しているか確認してください。 ※USBケーブルを介して本体に電力が供給されていないときはアームは開閉動作しません。
充電されない	LEDランプの色を確認してください。 電源プラグ(別売り)の仕様が5V/2A以上か確認してください。 アプリの消費電力が充電の電力より多いと充電されません。 機器が無線充電に対応しているか確認してください。 携帯電話のコイル位置に合わせてステアを調節してください。